

令和 4 年 6 月 1 日現在

機関番号：15401
 研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)
 研究期間：2016～2019
 課題番号：16H02778
 研究課題名(和文) 小児がん研究グループによる小児肝がんの海外診療状況調査と国際共同臨床研究基盤整備

 研究課題名(英文) Study of clinical states and infrastructure development of International co-operative clinical trial for childhood liver tumors by children's cancer study group

 研究代表者
 檜山 英三 (Eiso, Hiyama)

 広島大学・自然科学研究支援開発センター・教授

 研究者番号：00218744
 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 32,000,000円

研究成果の概要(和文)：小児肝がん研究グループとして、欧米のグループと構築した国際共通データベースのもとで国際共同臨床試験(PHITT)を策定した。また、東アジア地区を中心に調査を継続し、東アジアを取り込んだグローバルな研究体制を目指した研究に拡大するために、1)罹患率の検討、2)罹患リスク調査、3)臨床病期分類のデータ構築、4)病理分類の調査、5)リスク分類別調査、6)リスク別悪性度マーカーの選別とバンキング、7)治療効果判定：治療効果、これらを調査し、本レジメンの実施可能な地域選定を行い、グローバル試験としてのPHITT試験の参加枠組みの拡大を進めたが、コロナ禍で渡航が困難となりデータ収集が遅延している。

研究成果の学術的意義や社会的意義
 本研究により、希少がんの代表である小児肝癌(肝芽腫、肝細胞癌)に対する東アジアを含めたグローバルな臨床試験体制が構築され、臨床試験や治療が推進されるとともに、他の小児がんやAYA世代がんの国際共同臨床試験のモデルとなると考えられる

研究成果の概要(英文)：Japanese study group for Pediatric Liver tumor has developed the International Collaborative Clinical Trial (PHITT) under the International Common Database (CHIC) constructed with European and U.S. groups. In order to continue the investigation mainly on East Asia district and expand to the global research system which incorporates East Asia in addition to Japan, U.S.A. and Europe., the followings were performed: 1) examination of the morbidity rate, 2) morbidity risk investigation, 3) data construction of the clinical staging, 4) A survey of pathological classifications, 5) Survey by risk classification, 6) Sorting and banking of risk-specific malignancy markers, 7) Evaluation of therapeutic efficacy. Therapeutic efficacy and efficacy were investigated, and a feasible regional selection of this regimen was conducted to expand the framework for participating in PHITT trials as a global trial. However, traveling is difficult due to the corona outbreak, and data collection is delayed.

研究分野：小児外科

キーワード：肝芽腫 肝細胞癌 国際共同臨床試験 東アジア 中央診断 リスク分類 希少がん データベース

1. 研究開始当初の背景

小児肝がんは、80%以上が小児特有の肝芽腫であり、年間発生が100例に満たない希少がんである。本邦では、世界に先駆けて小児肝がんの治療成績向上のために日本小児肝癌グループ(JPLT)を結成し、全国の症例を蓄積し、治療プロトコールJPLT1及びJPLT2臨床試験を行ってきた。その結果、術前・術後化学療法の有効性を示し、全体の5年生存率が約70%と上昇した。しかし、肝3区域までの限局した腫瘍(標準リスク群)は90%の生存率である一方、肝4区域全てに及び高リスク群・遠隔転移のある超高リスク群や肝細胞癌の生存率は未だに不良で(図1)[1-8]、欧州SIOPELと北米COGグループも同様である。肝移植の積極導入や分子標的薬の登場で新たな局面となっているがどの研究グループも症例数に限りがあり、確かなエビデンスを得るための国際共同臨床試験が必須である。そこで、2007年から日米欧の3グループ共通のデータベース(CHIC: Children's Hepatic International Consortium)を作成し[9,10]、共通のリスク分類によるグローバルな臨床試験(PHITT: Pediatric Hepatic tumor International Therapeutic Trial)を開始した。現在、日米欧で、小児肝がんのCHICリスク分類や治療反応性の評価、バイオバンク設立、有害事象、バイオマーカー、難治・再発例に関わる調査研究を計画したところである。一方、近年、欧米に比べアジアで肝芽腫の発症数が増加し、本邦でも出生数の減少にもかかわらず登録数が明らかに上昇し、低出生体重児の生存率向上・ウイルス感染などの関与が示唆されている。こうした状況で、小児肝がん、特に肝芽腫の発症率が増加しているアジア地域の国際共同研究への参画は必須であり、本邦のJPLTが中心となって人種差等の遺伝的素因や環境因子、診療状況等を含めた調査と臨床試験への体制づくりのために、小児肝がんのアジアを中心とした本海外調査を計画した。

2. 研究の目的

JPLT(現在の日本小児がん研究グループJCGG肝腫瘍委員会)は1991年から小児肝がんに対して全国統一治療プロトコールを示して臨床研究を行い、病理や画像の中央診断によるデータと切除検体を凍結保存し、約400例の腫瘍を現有し、世界最大の小児肝がん腫瘍バンクを有している。さらに、欧州、米国のグループと共に構築した国際共通データベース(CHIC)を基盤に、世界特にアジア地区を中心とした調査を行い、現在、欧米と共に検討中の国際共同臨床研究であるPHITTプロジェクトを基軸にアジアを取り込んだグローバルな臨床研究体制確立を目的とした。

3. 研究の方法

1) 罹患率の検討: 北米COG, 欧州SIOPELと連携し、世界特にアジア地域の罹患・診療状況を把握するとともに、CHICデータベースの登録項目52項目の調査を行った。

2) 罹患リスク調査: 各地域の患者の家族集積性、出生体重、妊娠週数、合併奇形やウイルス感染など環境因子について調査し、肝芽腫、肝細胞癌の発がんリスク因子を調査解明した

3) 臨床病期分類: PRETEXT分類を基本として作成した国際統一病期分類を適応して進行度を分類し、CT・MRIなどの中央画像診断システムを利用してデータを蓄積、共有した。

4) 病理分類: SIOPELやCOGの病理医と共同で作成した国際統一病理分類でオンラインにて病理標本をアップできる中央診断システム(Aperio)にて所見を蓄積共有して調査した。

5) リスク分類: 既に確立した国際共同試験への統一CHICリスク分類を用いて臨床データ、病理所見などから低リスク群、中間リスク群、高リスクを判別し、その実態を調査した。

6) リスク別マーカーの選別とバンキング: 人種差などの遺伝的素因、リスク別マーカーの検索や成因、悪性度解析などの研究調査とともに、日本のBBJ(バイオバンクジャパン)と連携して国際共同バンキングシステムの設立へ向け、調査し検討した。

7) 治療効果判定: 治療効果判定、副作用、晩期合併症、二次がんの発症状況などの国際共通の評価システムをCHICのデータベースとして構築し、欧州SIOPEL、米国COGの治療成績とアジアを中心とした発展途上国の治療成績を評価し、臨床試験実施可能な地域の調査を行い、実施体制の構築を行った。

4. 研究成果

1) 罹患率の検討: 北米 COG, 欧州 SIOPEL と本邦 JPLT の 2008 年までに報告された多施設共同試験 8 試験のデータを集積することとした(図 1)。これらのデータの 52 項目でデータ集積したデータベースを構築した[9,10]。さらに、アジア特に東アジアである中国、韓国、台湾、シンガポール、香港の罹患状況を収集した。罹患率に有意差はなかった。

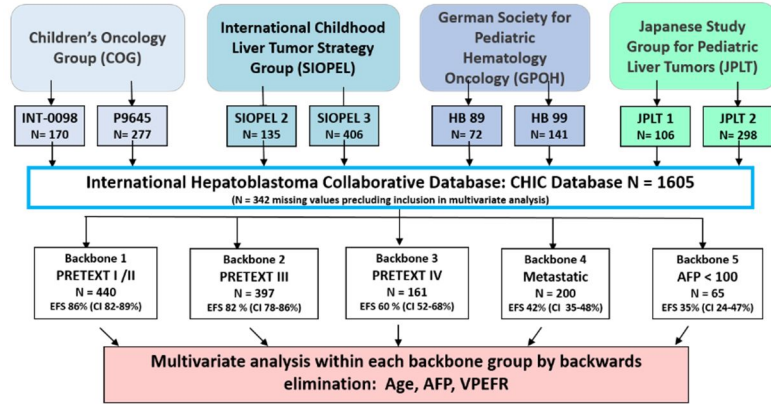


図1: CHIC データベース 2008年までの多施設共同試験から構築 (n = 1605)

2) 罹患リスク調査: 各地域の患者の家族集積性、出生体重、妊娠週数、合併奇形やウイルス感染など環境因子についてのデータを収集し、肝芽腫、肝細胞癌の発がんリスク因子を行った。肝炎ウイルス検査においても特にアジアでの小児肝腫瘍の罹患率との関連は示唆されなかった。本邦で報告した超低出生体重児の罹患率の上昇のデータ[11]については、出生時体重のデータが不十分であり、海外での有意性を見出すに至らなかった。一方、正常組織のゲノム解析を行ったところ、染色体 2 番と 5 番に罹患率と有意に相関する SNP を認めた。2 番染色体の SNP は、*BCL11A* 遺伝子の部位であった(図 2)。人種別に検討すると、オッズ比は欧州 1.93, アフリカ: 2.06, ヒスパニック 2.09、南アジア: 2.27 であったが、東アジアは OR: 1.23 で有意性低く、人種間での罹患リスクの差が示唆された。また、腫瘍における *BCL11A* 遺伝子発現についても検討を追加する予定である。

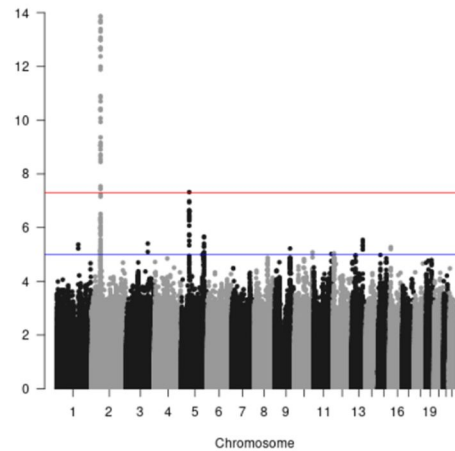


図2: 肝芽腫症例のマンハッタンプロット: 染色体2番と5番に有意なSNPを認めた。

3) 臨床病期分類: PRETEXT 分類を基本として作成した国際統一病期分類を用いて進行度分類を行った。PRETEXT 4 の患者が、アジア、アフリカに多いことが示され、診断の遅れが一因であることが示唆された。病理分類: SIOPEL や COG、および JPLT の病理医と共同で作成した国際統一病理分類[12]でオンラインにて病理標本をアップできる中央診断システム (Aperio) にてか肝芽腫として登録された 599 例の病理所見についてレビューを行った。その結果、570 例が典型的な肝芽腫であり、29 例が非典型的な症例で、HCN-NOS (hepatocellular neoplasm non specific) やラブドイド腫瘍が含まれていた。また、米国では大策状型が、欧州では胆管上皮型が多くみられ、アジアには小細胞型が少ない傾向があり、人種差が示唆された。

4) リスク分類: 既に登録された図 1 の 1605 例のうち、臨床データ、病理所見などの詳細なデータが報告されている 1226 例²⁾について再解析して、超低リスク群、低リスク群、中間リスク群、高リスクを判別し、その実態を解析した。国際共同試験への統一 CHIC リスク分類を作成し、これを用いた臨床試験 PHITT を構築した(表 1)。さらに、2008 年以降の 403 症例も追加したデータベースを構築して、その変化について検討した(表 1)。その結果、超低リスクと高リスク群の割合に変化はなかったが、低リスク群が減少し、中間リスク群が増加した。これは、画像診断の進歩により、PRETEXT 分類の付加因子(脈管浸潤、多発性、リンパ節転移、腫瘍破裂など)の診断率が向上したことが一因であると考えられた。

表 1. Patient and tumor characteristics of the development and the validation sets.

		基本データ (n=1263)		評価データ (n=403)	
性別	男	777	61.5%	236	58.6%
	女	486	38.5%	176	41.4%
年齢 (median, range)		1.38	0.01 – 15.3	0.91	0.0 – 15.9
AFP 値 (median, range) ng/ml		130'000	0 - 24×10 ⁶	166'660	42.1 – 5'036'000
PRETEXT	I	75	5.9%	25	60.2%
	II	427	33.8%	177	43.9%
	III	515	40.8%	146	36.2%
	IV	246	19.5%	55	13.7%
metastatic	無	1046	82.8%	313	77.7%
	有	217	17.2%	90	22.3%
VPEFR	無	849	67.2%	167	41.4%
	有	414	32.8%	236	58.6%
CHIC リスク strata (2016)	超低	141	11.1%	56	13.9%
	低	492	39.0%	92	22.8%
	中間	312	24.7%	159	39.5%
	高	318	25.2%	96	23.8%

5) リスク別マーカーの選別とバンキング：人種差などの遺伝的素因、リスク別マーカーの検索や成因、悪性度解析などの研究調査とともに、日本の BBJ (バイオバンクジャパン) と連携して国際共同バンキングシステムの設立へ向け、腫瘍と正常検体をバンクを進めた。

6) 治療効果判定：治療効果判定、副作用、晩期合併症、二次がんの発症状況などの国際共通の評価システムを CHIC のデータベースとして構築し、欧州 SIOPEL、米国 COG の治療成績とアジアを中心とした発展途上国の治療成績を評価し、臨床試験実施可能な地域の調査を行う。その結果、中国 (広州)、香港、シンガポールの施設が実際に臨床試験 PHITT に参加し、内外では計 73 施設になった。また、中国の北京、インドの参加が検討されている。治療効果判定：病理所見、副作用、晩期合併症、二次がんの発症状況を、欧州、米国の治療データと比較解析したところ、本邦では聴力毒性と二次がん発症に差を認め、アジア地域は二次がんが多く、その成因として化学療法剤の関与が推定された³⁾。現在、二次がんや聴力毒性と関連した SNP を検索し、いくつかの候補を認めている。

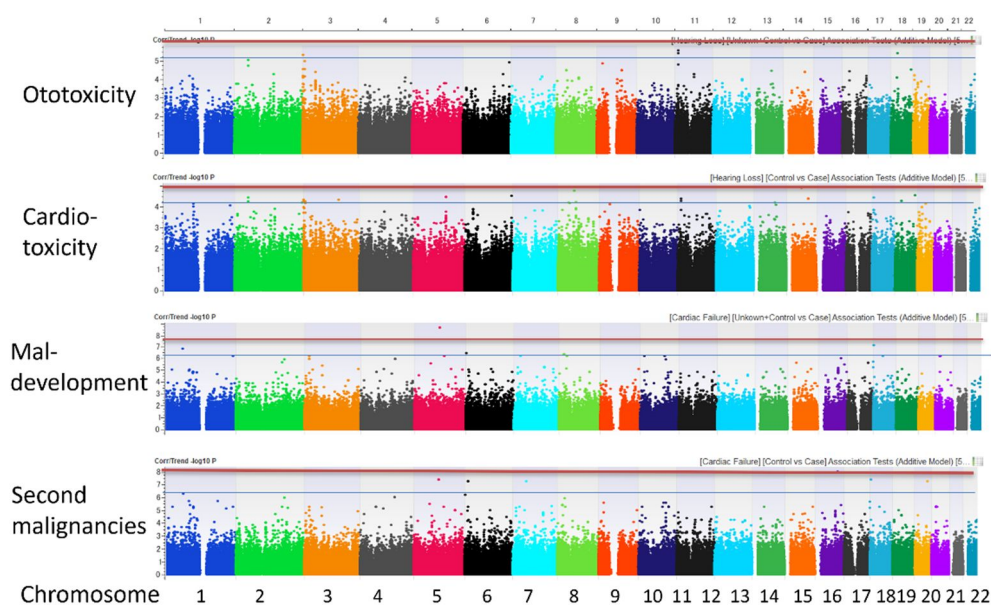


図3: 小児肝腫瘍治療例の晩期合併症のマンハッタンプロット

< 引用文献 >

- 1) Hishiki, T., Matsunaga, T., Sasaki, F., Yano, M., Ida, K., Horie, H., Kondo, S., Watanabe, K., Oue, T., Tajiri, T., et al. Outcome of hepatoblastomas treated using the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor (JPLT) protocol-2: report from the JPLT. *Pediatric surgery international* **2011**, *27*, 1-8, doi:10.1007/s00383-010-2708-0.
- 2) Hiyama, E. Pediatric hepatoblastoma: diagnosis and treatment. *Transl Pediatr* **2014**, *3*, 293-299, doi:10.3978/j.issn.2224-4336.2014.09.01.
- 3) Hiyama, E., Hishiki, T., Watanabe, K., Ida, K., Ueda, Y., Kurihara, S., Yano, M., Hoshino, K., Yokoi, A., Takama, Y., et al. Outcome and Late Complications of Hepatoblastomas Treated Using the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor 2 Protocol. *J Clin Oncol* **2020**, *38*, 2488-2498, doi:10.1200/JCO.19.01067.
- 4) Sasaki, F., Matsunaga, T., Iwafuchi, M., Hayashi, Y., Ohkawa, H., Ohira, M., Okamatsu, T., Sugito, T., Tsuchida, Y., Toyosaka, A., et al. Outcome of hepatoblastoma treated with the JPLT-1 (Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor) Protocol-1: A report from the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor. *J Pediatr Surg* **2002**, *37*, 851-856.
- 5) Malogolowkin, M.H., Katzenstein, H.M., Meyers, R.L., Krailo, M.D., Rowland, J.M., Haas, J., Finegold, M.J. Complete surgical resection is curative for children with hepatoblastoma with pure fetal histology: a report from the Children's Oncology Group. *J Clin Oncol* **2011**, *29*, 3301-3306, doi:10.1200/JCO.2010.29.3837.
- 6) Meyers, R., Hiyama, E., Czauderna, P., Tiao, G.M. Liver Tumors in Pediatric Patients. *Surg Oncol Clin N Am* **2021**, *30*, 253-274, doi:10.1016/j.soc.2020.11.006.
- 7) Perilongo, G., Maibach, R., Shafford, E., Brugieres, L., Brock, P., Morland, B., de Camargo, B., Zsiros, J., Roebuck, D., Zimmermann, A., et al. Cisplatin versus cisplatin plus doxorubicin for standard-risk hepatoblastoma. *The New England journal of medicine* **2009**, *361*, 1662-1670, doi:10.1056/NEJMoa0810613.
- 8) Zsiros, J., Brugieres, L., Brock, P., Roebuck, D., Maibach, R., Zimmermann, A., Childs, M., Pariente, D., Laithier, V., Otte, J.B., et al. Dose-dense cisplatin-based chemotherapy and surgery for children with high-risk hepatoblastoma (SIOPEL-4): a prospective, single-arm, feasibility study. *Lancet Oncol* **2013**, *14*, 834-842, doi:10.1016/S1470-2045(13)70272-9.
- 9) Czauderna, P., Haeberle, B., Hiyama, E., Rangaswami, A., Krailo, M., Maibach, R., Rinaldi, E., Feng, Y., Aronson, D., Malogolowkin, M., et al. The Children's Hepatic tumors International Collaboration (CHIC): Novel global rare tumor database yields new prognostic factors in hepatoblastoma and becomes a research model. *Eur J Cancer* **2016**, *52*, 92-101, doi:10.1016/j.ejca.2015.09.023.
- 10) Meyers, R.L., Maibach, R., Hiyama, E., Haberle, B., Krailo, M., Rangaswami, A., Aronson, D.C., Malogolowkin, M.H., Perilongo, G., von Schweinitz, D., et al. Risk-stratified staging in paediatric hepatoblastoma: a unified analysis from the Children's Hepatic tumors International Collaboration. *Lancet Oncol* **2017**, *18*, 122-131, doi:10.1016/S1470-2045(16)30598-8.
- 11) Ikeda, H., Hachitanda, Y., Tanimura, M., Maruyama, K., Koizumi, T., Tsuchida, Y. Development of unfavorable hepatoblastoma in children of very low birth weight: results of a surgical and pathologic review. *Cancer* **1998**, *82*, 1789-1796.
- 12) Lopez-Terrada, D., Alaggio, R., de Davila, M.T., Czauderna, P., Hiyama, E., Katzenstein, H., Leuschner, I., Malogolowkin, M., Meyers, R., Ranganathan, S., et al. Towards an international pediatric liver tumor consensus classification: proceedings of the Los Angeles COG liver tumors symposium. *Mod Pathol* **2014**, *27*, 472-491, doi:10.1038/modpathol.2013.80

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計41件（うち査読付論文 37件／うち国際共著 7件／うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 Sakamoto Seisuke, Sasaki Kengo, Uchida Hajime, Kitajima Toshihiro, Narumoto Soichi, Hirata Yoshihiro, Hishiki Tomoro, Fukuda Akinari, Kasahara Mureo	4. 巻 24
2. 論文標題 Ex vivo reduction of thickness in the left lateral section to tailor the graft size in infantile split deceased donor liver transplantation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Liver Transplantation	6. 最初と最後の頁 428 ~ 431
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lt.24976	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda Akinari, Sakamoto Seisuke, Sasaki Kengo, Narumoto Soichi, Kitajima Toshihiro, Hirata Yoshihiro, Hishiki Tomoro, Kasahara Mureo	4. 巻 22
2. 論文標題 Modified triangular hepatic vein reconstruction for preventing hepatic venous outflow obstruction in pediatric living donor liver transplantation using left lateral segment grafts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatric Transplantation	6. 最初と最後の頁 e13167 ~ e13167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/petr.13167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hishiki T, Matsumoto K, Ohira M, Kamijo T, Shichino H, Kuroda T, Yoneda A, Soejima T, Nakazawa A, Takimoto T, Yokota I, Teramukai S, Takahashi H, Fukushima T, Kaneko T, Hara J, Kaneko M, Ikeda H, Tajiri T, Nakagawara A.	4. 巻 23
2. 論文標題 Results of a phase II trial for high-risk neuroblastoma treatment protocol JN-H-07: a report from the Japan Childhood Cancer Group Neuroblastoma Committee (JNBSG)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 965 ~ 973
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10147-018-1281-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Hajime, Sakamoto Seisuke, Sasaki Kengo, Takeda Masahiro, Hirata Yoshihiro, Fukuda Akinari, Hishiki Tomoro, Irie Rie, Nakazawa Atsuko, Miyazaki Osamu, Nosaka Shunsuke, Kasahara Mureo	4. 巻 65
2. 論文標題 Surgical treatment strategy for advanced hepatoblastoma: Resection versus transplantation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatric Blood & Cancer	6. 最初と最後の頁 e27383 ~ e27383
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.27383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harada Kazuaki, Ihara Fumie, Takami Mariko, Kamata Toshiko, Mise Naoko, Yoshizawa Hiroko, Hishiki Tomoro, Saito Takeshi, Terui Keita, Nakata Mitsuyuki, Komatsu Shugo, Ikeuchi Takayuki, Nakayama Toshinori, Yoshida Hideo, Motohashi Shinichiro	4. 巻 110
2. 論文標題 Soluble factors derived from neuroblastoma cell lines suppress dendritic cell differentiation and activation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 888 ~ 902
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13933	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iijima Hiroyuki, Iwano Reiko, Tanaka Yukichi, Muroya Koji, Fukuda Tokiko, Sugie Hideo, Kurosawa Kenji, Adachi Masanori	4. 巻 17
2. 論文標題 Analysis of GBE1 mutations via protein expression studies in glycogen storage disease type IV: A report on a non-progressive form with a literature review	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Genetics and Metabolism Reports	6. 最初と最後の頁 31 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ymgmr.2018.09.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomotaki Seiichi, Takeyama Eriko, Tanaka Mio, Ohyama Makiko, Tanaka Yukichi	4. 巻 60
2. 論文標題 Mucor mycelial thrombosis of the portal vein in an extremely low-birthweight infant	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 764 ~ 766
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.13611	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Yuki, Tanaka Tomoko, Higashi Mayumi, Fumino Shigehisa, Iehara Tomoko, Hosoi Hajime, Sakai Toshiyuki, Tajiri Tatsuro	4. 巻 53
2. 論文標題 In vivo effects of short- and long-term MAPK pathway inhibition against neuroblastoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Pediatric Surgery	6. 最初と最後の頁 2454 ~ 2459
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpedsurg.2018.08.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Amano Hizuru, Uchida Hiroo, Tanaka Yujiro, Tainaka Takahisa, Mori Makiko, Oguma Eiji, Kishimoto Hiroshi, Kawashima Hiroshi, Arakawa Yuki, Hanada Ryoji, Koh Katsuyoshi	4. 巻 53
2. 論文標題 Excellent prognosis of patients with intermediate-risk neuroblastoma and residual tumor postchemotherapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Pediatric Surgery	6. 最初と最後の頁 1761 ~ 1765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpedsurg.2017.10.061	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Kentaro, Arakawa Yuki, Oguma Eiji, Uehara Taichi, Yanagi Masato, Oyama Chigusa, Ikeda Yuhachi, Sasaki Koji, Isobe Kiyotaka, Mori Makiko, Hanada Ryoji, Koh Katsuyoshi	4. 巻 108
2. 論文標題 Characteristics of methotrexate-induced stroke-like neurotoxicity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 630 ~ 636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-018-2525-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Yohei, Hoshino Ken, Oyanagi Takayuki, Gatayama Ryohei, Maeda Jun, Katori Nobuyuki, Fuchimoto Yasushi, Hibi Taizo, Shinoda Masahiro, Matsubara Kentaro, Obara Hideaki, Aeba Ryo, Kitagawa Yuko, Yamagishi Hiroyuki, Kuroda Tatsuo	4. 巻 22
2. 論文標題 Successful management of living donor liver transplantation for biliary atresia with single ventricle physiology-from peri-transplant through total cavopulmonary connection: A?case report	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatric Transplantation	6. 最初と最後の頁 e13118 ~ e13118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/petr.13118	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Y, Hoshino K, Fuchimoto Y, Matsubara K, Hibi T, Yagi H, iAbe Y, Shinoda M, Kitago M, Obara H, Yagi T, Okajima H, Kaido T, Uemoto S, Suzuki T, Kubota K, Yoshizumi T, Maehara Y, Inomata Y, Kitagawa Y, Egawa H, Kuroda T	4. 巻 4
2. 論文標題 Rituximab Induction to Prevent the Recurrence of PSC After Liver Transplantation?The Lessons Learned From ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transplantation Direct	6. 最初と最後の頁 e342 ~ e342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/TXD.0000000000000760	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Towbin Alexander J., Meyers Rebecka L., Woodley Helen, Miyazaki Osamu, Weldon Christopher B., Morland Bruce, Hiyama Eiso, Czauderna Piotr, Roebuck Derek J., Tiao Greg M.	4. 巻 48
2. 論文標題 2017 PRETEXT: radiologic staging system for primary hepatic malignancies of childhood revised for the Paediatric Hepatic International Tumour Trial (PHITT)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatric Radiology	6. 最初と最後の頁 536 ~ 554
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00247-018-4078-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura Hideaki, Bono Hidemasa, Hiyama Keiko, Kawamoto Takeshi, Kato Yukio, Nakanishi Takeshi, Nishiyama Masahiko, Hiyama Eiso, Hirohashi Nobuyuki, Sueoka Eisaburo, Poellinger Lorenz, Tanimoto Keiji	4. 巻 13
2. 論文標題 Differentiated embryo chondrocyte plays a crucial role in DNA damage response via transcriptional regulation under hypoxic conditions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0192136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0192136	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Brock PR, Maibach R, Childs M, Rajput K, Roebuck D, Sullivan MJ, Laithier V, Ronghe M, Dall'Igna P, Hiyama E, Brichard B, Skeen J, Mateos ME, Capra M, Rangaswami AA, Ansari M, Rechnitzer C, Veal GJ, Covezzoli A, Brugi`res L, Perilongo G, Czauderna P, Morland B, Neuwelt EA.	4. 巻 378
2. 論文標題 Sodium Thiosulfate for Protection from Cisplatin-Induced Hearing Loss	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 New England Journal of Medicine	6. 最初と最後の頁 2376 ~ 2385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1056/NEJMoa1801109	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Towbin Alexander J., Meyers Rebecka L., Woodley Helen, Miyazaki Osamu, Weldon Christopher B., Morland Bruce, Hiyama Eiso, Czauderna Piotr, Roebuck Derek J., Tiao Greg M.	4. 巻 48
2. 論文標題 Another point of view on 2017 PRETEXT: reply to Pariente et al.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatric Radiology	6. 最初と最後の頁 1820 ~ 1822
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00247-018-4228-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Abouleila Yasmine, Onidani Kaoru, Ali Ahmed, Shoji Hirokazu, Kawai Takayuki, Lim Chwee Teck, Kumar Vipin, Okaya Shinobu, Kato Ken, Hiyama Eiso, Yanagida Toshio, Masujima Tsutomu, Shimizu Yoshihiro, Honda Kazufumi	4. 巻 110
2. 論文標題 Live single cell mass spectrometry reveals cancer specific metabolic profiles of circulating tumor cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 697 ~ 706
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13915	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hishiki Tomoro, Watanabe Kenichiro, Ida Kohmei, Hoshino Ken, Iehara Tomoko, Aoki Yuki, Kazama Takuro, Kihira Kentaro, Takama Yuichi, Taguchi Tomoaki, Fujimura Junya, Honda Shohei, Matsumoto Kimikazu, Mori Makiko, Yano Michihiro, Yokoi Akiko, Tanaka Yukichi, Fuji Hiroshi, Miyazaki Osamu, Yoshimura Kenichi, Takimoto Tetsuya, Hiyama Eiso	4. 巻 52
2. 論文標題 The role of pulmonary metastasectomy for hepatoblastoma in children with metastasis at diagnosis: Results from the JPLT-2 study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Pediatric Surgery	6. 最初と最後の頁 2051 ~ 2055
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpedsurg.2017.08.031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Hideaki, Bono Hidemasa, Hiyama Keiko, Kawamoto Takeshi, Kato Yukio, Nakanishi Takeshi, Nishiyama Masahiko, Hiyama Eiso, Hirohashi Nobuyuki, Sueoka Eisaburo, Poellinger Lorenz, Tanimoto Keiji	4. 巻 13
2. 論文標題 Differentiated embryo chondrocyte plays a crucial role in DNA damage response via transcriptional regulation under hypoxic conditions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0192136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0192136	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Meyers RL, Maibach R, Hiyama E, Häberle B, Krailo M, Rangaswami A, Aronson DC, Malogolowkin MH, Perilongo G, von Schweinitz D, Ansari M, Lopez-Terrada D, Tanaka Y, Alaggio R, Leuschner I, Hishiki T, Schmid I, Watanabe K, Yoshimura K, Feng Y, Rinaldi E, Saraceno D, Derosa M, Czauderna P.	4. 巻 18
2. 論文標題 Risk-stratified staging in paediatric hepatoblastoma: a unified analysis from the Children's Hepatic tumors International Collaboration	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Lancet Oncology	6. 最初と最後の頁 122 ~ 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S1470-2045(16)30598-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Mio, Kohashi Kenichi, Kushitani Kei, Yoshida Misa, Kurihara Sho, Kawashima Masumi, Ueda Yuka, Souzaki Ryota, Kinoshita Yoshiaki, Oda Yoshinao, Takeshima Yukio, Hiyama Eiso, Taguchi Tomoaki, Tanaka Yukichi	4. 巻 66
2. 論文標題 Inflammatory myofibroblastic tumors of the lung carrying a chimeric A2M-ALK gene: report of 2 infantile cases and review of the differential diagnosis of infantile pulmonary lesions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Pathology	6. 最初と最後の頁 177 ~ 182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2017.06.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goto Hiroaki, Kitagawa Norihiko, Sekiguchi Hironobu, Miyagi Yohei, Keino Dai, Sugiyama Masanaka, Sarashina Takeo, Miyagawa Naoyuki, Yokosuka Tomoko, Hamanoue Satoshi, Iwasaki Fuminori, Shiomi Masae, Goto Shoko, Tanaka Yukichi	4. 巻 39
2. 論文標題 The Collagen Gel Droplet?embedded Culture Drug Sensitivity Test in Relapsed Hepatoblastoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Pediatric Hematology/Oncology	6. 最初と最後の頁 395 ~ 401
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MPH.0000000000000865	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井田 孔明	4. 巻 55
2. 論文標題 日本における小児肝腫瘍に対する臨床試験の現状	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本小児血液・がん学会雑誌	6. 最初と最後の頁 406 ~ 411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11412/jspho.55.406	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Yohei, Hoshino Ken, Mori Teisaburo, Kawaida Miho, Abe Kiyotomo, Ishihama Hideo, Shimizu Takahiro, Takahashi Nobuhiro, Matsubara Kentaro, Hibi Taizo, Abe Yuta, Yagi Hiroshi, Shimojima Naoki, Shinoda Masahiro, Kitago Minoru, Obara Hideaki, Fuchimoto Yasushi, Kameyama Kaori, Kitagawa Yuko, Kuroda Tatsuo	4. 巻 48
2. 論文標題 Successful living donor liver retransplantation for graft failure within 7?days due to acute de novo donor-specific anti-human leukocyte antigen antibody-mediated rejection	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hepatology Research	6. 最初と最後の頁 E360 ~ E366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hepr.12924	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 星野健	4. 巻 49(4)
2. 論文標題 【インフォームド・コンセントのあり方】 経皮的針生検(肝生検・腎生検)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 小児外科	6. 最初と最後の頁 417-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiyama Eiso, Hishiki Tomoro, Watanabe Kenichiro, Ida Kohmei, Yano Michihiro, Oue Takaharu, Iehara Tomoko, Hoshino Ken, Koh Katsuyoshi, Tanaka Yukichi, Kurihara Sho, Ueda Yuka, Onitake Yoshiyuki	4. 巻 51
2. 論文標題 Resectability and tumor response after preoperative chemotherapy in hepatoblastoma treated by the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor (JPLT)-2 protocol	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Pediatric Surgery	6. 最初と最後の頁 2053 ~ 2057
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpedsurg.2016.09.038	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜山 英三, 上田 祐華, 栗原 将, 河島 茉澄	4. 巻 48
2. 論文標題 小児肝腫瘍の最近の話題: グローバル試験へ向けて	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 小児外科	6. 最初と最後の頁 1192 ~ 1195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Meyers RL, Maibach R, Hiyama E, Hälberle B, Krailo M, Rangaswami A, Aronson DC, Malogolowkin MH, Perilongo G, von Schweinitz D, Ansari M, Lopez-Terrada D, Tanaka Y, Alaggio R, Leuschner I, Hishiki T, Schmid I, Watanabe K, Yoshimura K, Feng Y, Rinaldi E, Saraceno D, Derosa M, Czauderna P	4. 巻 18
2. 論文標題 Risk-stratified staging in paediatric hepatoblastoma: a unified analysis from the Children's Hepatic tumors International Collaboration	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Lancet Oncology	6. 最初と最後の頁 122 ~ 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S1470-2045(16)30598-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Honda S, Minato M, Suzuki H, Fujiyoshi M, Miyagi H, Haruta M, Kaneko Y, Hatanaka KC, Hiyama E, Kamijo T, Okada T, Taketomi A.	4. 巻 107
2. 論文標題 Clinical prognostic value of DNA methylation in hepatoblastoma: Four novel tumor suppressor candidates.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 812 ~ 819
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.12928	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Hiroshi, Kosugiyama Kiyotaka, Honda Shohei, Tadao Okada, Taketomi Akinobu, Iwata Seido	4. 巻 83
2. 論文標題 Down Syndrome with Patent Ductus Venosus and Hepato-Biliary-Pancreatic Abnormalities	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Indian Journal of Pediatrics	6. 最初と最後の頁 78 ~ 80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12098-015-1797-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Honda Shohei, Miyagi Hisayuki, Minato Masashi, Okada Tadao, Hatanaka KanakoC, Taketomi Akinobu	4. 巻 13
2. 論文標題 Impact of umbilical polyp resection: A report and literature review	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Afr J Paediatr Surg	6. 最初と最後の頁 196 ~ 196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4103/0189-6725.194677	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Tomoko, Higashi Mayumi, Kimura Koseki, Wakao Junko, Fumino Shigehisa, Iehara Tomoko, Hosoi Hajime, Sakai Toshiyuki, Tajiri Tatsuro	4. 巻 51
2. 論文標題 MEK inhibitors as a novel therapy for neuroblastoma: Their in vitro effects and predicting their efficacy	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Pediatric Surgery	6. 最初と最後の頁 2074 ~ 2079
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpedsurg.2016.09.043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yagyu Shigeki, Iehara Tomoko, Tanaka Shiro, Gotoh Takahiro, Misawa-Furihata Akiko, Sugimoto Tohru, London Wendy B., Hogarty Michael D., Teramukai Satoshi, Nakagawara Akira, Hiyama Eiso, Maris John M., Hosoi Hajime	4. 巻 11
2. 論文標題 Serum-Based Quantification of MYCN Gene Amplification in Young Patients with Neuroblastoma: Potential Utility as a Surrogate Biomarker for Neuroblastoma	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e161039 ~ 161039
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0161039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Iehara Tomoko, Yagyu Shigeki, Tsuchiya Kunihiko, Kuwahara Yasumichi, Miyachi Mitsuru, Tajiri Tatsuro, Sugimoto Tohru, Sawada Tadashi, Hosoi Hajime	4. 巻 46
2. 論文標題 Residual tumor in cases of intermediate-risk neuroblastoma did not influence the prognosis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 661 ~ 666
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyw050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yamada Yohei, Hoshino Ken, Irie Rie, Tomita Hirofumi, Kato Mototoshi, Shimojima Naoki, Fujino Akihiro, Hibi Taizo, Shinoda Masahiro, Obara Hideaki, Itano Osamu, Kawachi Shigeyuki, Tanabe Minoru, Sakamoto Michiie, Kitagawa Yuko, Kuroda Tatsuo	4. 巻 20
2. 論文標題 The optimal immunosuppressive protocol for the portal vein infusion of PGE1 and methylprednisolone in pediatric liver transplantation for fulminant hepatic failure of unknown etiology	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Pediatric Transplantation	6. 最初と最後の頁 640 ~ 646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ptr.12711	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tomita Hirofumi, Ohkuma Kiyoshi, Masugi Yohei, Hosoe Naoki, Hoshino Ken, Fuchimoto Yasushi, Fujino Akihiro, Shimizu Takahiro, Kato Mototoshi, Fujimura Takumi, Ishihama Hideo, Takahashi Nobuhiro, Tanami Yutaka, Ebinuma Hiroto, Saito Hidetsugu, Sakamoto Michiie, Nakano Miwako, Kuroda Tatsuo	4. 巻 46
2. 論文標題 Diagnosing native liver fibrosis and esophageal varices using liver and spleen stiffness measurements in biliary atresia: a pilot study	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Pediatric Radiology	6. 最初と最後の頁 1409 ~ 1417
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00247-016-3637-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富田紘史, 星野健, 石濱秀雄, 清水隆弘, 藤村匠, 狩野元宏, 山田洋平, 下島直樹, 藤野明浩, 黒田達夫	4. 巻 52
2. 論文標題 生体部分肝移植後早期に妊娠出産し得た胆道閉鎖症の1例	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本小児外科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 1103 ~ 1107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohashi Kenichi, Tanaka Yukichi, Kishimoto Hiroshi, Yamamoto Hidetaka, Yamada Yuichi, Taguchi Tomoaki, Iwamoto Yukihide, Oda Yoshinao	4. 巻 29
2. 論文標題 Reclassification of rhabdoid tumor and pediatric undifferentiated/unclassified sarcoma with complete loss of SMARCB1/INI1 protein expression: three subtypes of rhabdoid tumor according to their histological features	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Modern Pathology	6. 最初と最後の頁 1232 ~ 1242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/modpathol.2016.106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Czauderna P, aeberle B, Hiyama E, Rangaswami A, Krailo M, Maibach R, Rinaldi E, Feng Y, Aronson D, Malogolowkin M, Yoshimura K, Leuschner I, Lopez-T D, Hishiki T, Perilongo G, von Schweinitz D, Schmid I, Watanabe K, Derosa, Meyers R	4. 巻 52
2. 論文標題 The Children's Hepatic tumors International Collaboration (CHIC): Novel global rare tumor database yields new prognostic factors in hepatoblastoma and becomes a research model	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Eur J Cancer	6. 最初と最後の頁 92 ~ 101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejca.2015.09.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mise Naoko, Takami Mariko, Suzuki Akane, Kamata Toshiko, Harada Kazuaki, Hishiki Tomoro, Saito Takeshi, Terui Keita, Mitsunaga Tetsuya, Nakata Mitsuyuki, Ikeuchi Takayuki, Nakayama Toshinori, Yoshida Hideo, Motohashi Shinichiro	4. 巻 107
2. 論文標題 Antibody-dependent cellular cytotoxicity toward neuroblastoma enhanced by activated invariant natural killer T cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 233 ~ 241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.12882	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Honda Shohei、Minato Masashi、Miyagi Hisayuki、Okada Hiromi、Taketomi Akinobu	4. 巻 59
2. 論文標題 Anal canal duplication presenting with abscess formation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 500 ~ 501
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.13222	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計83件 (うち招待講演 4件 / うち国際学会 34件)

1. 発表者名 Hishiki T.
2. 発表標題 Symposium: Multidisciplinary management of liver tumor. Surgical management of pediatric liver tumors.
3. 学会等名 The 50th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hishiki T.
2. 発表標題 Treatment and surgical intervention for solid tumors in childhood.
3. 学会等名 Annual Scientific Conference on Cancer Control 2018 and Multidisciplinary Cancer Management Courses, Vietnam (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本多昌平, 宮城久之, 湊 雅嗣, 荒 桃子, 藤好 直, 北河徳彦, 田中祐吉, 田中水緒, 新開真人, 檜山英三, 武富紹信
2. 発表標題 肝芽腫エピゲノム異常解析による個別化治療を目指した分子マーカーの確立
3. 学会等名 第55回日本小児外科学会定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本多昌平, 宮城久之, 湊 雅嗣, 荒 桃子, 藤好 直, 北河徳彦, 田中祐吉, 田中水緒, 新開真人, 武富紹信.
2. 発表標題 肝芽腫microRNA発現異常に関わるDNAメチル化異常
3. 学会等名 第118回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本多昌平, 菱木知郎, 横井暁子, 風間理郎, 高間勇一, 星野 健, 田口智章, 檜山英三.
2. 発表標題 肝腫瘍に対するinitial surgical interventionに関する最近の話題
3. 学会等名 第60回日本小児血液がん学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiyama E, Kawashima M, Kurihara S, Ueda Y, Kimura S, Irisuna A, Morihara N, Hirano S, Hiyama K.
2. 発表標題 Telomere biology including rearrangement of TERT promoter lesion in neuroblastoma.
3. 学会等名 Advances in Neuroblastoma Research 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiyama E, Kurihara S, Kawashima M, Takemoto M, Ueda Y, Hiyama K.
2. 発表標題 Single cell RNA Sequencing of neuroblastoma
3. 学会等名 Advances in Neuroblastoma Research 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Eiso Hiyama
2. 発表標題 Decline of alpha-fetoprotein before tumor resection as a prognosis-
3. 学会等名 2018 PAPS meeting. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuka Ueda, Eiso Hiyama, Sho Kurihara, Masumi Kawashima, Masato Kojima, Satoshi Hirahara, Keiko Hiyama.
2. 発表標題 Cancer fluid biopsy using circulating tumor cells in childhood solid tumors.
3. 学会等名 2018 PAPS meeting. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kurihara S, Hiyama E, Ueda Y, Kawashima M, Kojima M, Hirahara S
2. 発表標題 Surgical intervention for portosystemic venous shunt in children.
3. 学会等名 2018 PAPS meeting. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栗原 將、檜山 英三、上田 祐華、田中 祐吉.
2. 発表標題 当院で最近経験した小児肺腫瘍性病変の3例.
3. 学会等名 第55回日本小児外科学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiyama E, Kurihara S, Ueda Y, Hishiki T, Ida K, Iehara T, Oue T, Yano M, Watanabe K, Hoshino K, Ko K, Tanaka Y.
2. 発表標題 Survival and delayed effects of risk-stratified hepatoblastoma patients treated in the JPLT-2 trial.
3. 学会等名 2018 ASCO Annual Meeting. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 檜山 英三
2. 発表標題 世界における肝芽腫治療の最前線：日本と世界を結ぶ国際共同臨床試験．肝芽腫治療の最前線．
3. 学会等名 国立成育医療研究センター主催公開セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aburatani H, Nakagawa H, Hiyama E.
2. 発表標題 Genomic landscape of hepatoblastoma.
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiyama E.
2. 発表標題 Clinical limitations, implications and ethical considerations of genetic analysis in hereditary tumors. (遺伝性腫瘍における臨床と倫理上の問題点)
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamamoto S, Tatsuno K, Nagae G, Fujita M, Nakagawa H, Hiyama E, Aburatani H.
2. 発表標題 Comprehensive analysis of Hepatoblastoma.
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Arfan A, Hana F, Yamaoka E, Hiyama E.
2. 発表標題 Differential Expression of miRNA in Neuroblastoma Patients Using Next Generation Sequencing.
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 檜山 英三
2. 発表標題 小児肝腫瘍の現在と将来:小児肝腫瘍に対する国際共同臨床試験の現状
3. 学会等名 6th International Conference of FACO. Part 2: Future Study. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 檜山 英三
2. 発表標題 小児がんにおける国際共同臨床試験の現状:欧州と日本の関連
3. 学会等名 第56回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 深澤 賢宏, 谷本 圭, 山岡 絵美, 金輪 真佐美, 廣橋 伸之, 檜山 英三.
2. 発表標題 小児肝がんにおいて高発現する膜蛋白ADAM32の分子機能および治療標的としての検討.
3. 学会等名 第56回日本癌治療学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 檜山 英三
2. 発表標題 小児血液・がん領域でのゲノム医療：二次性所見への対応についての学会ガイダンス案 (Genomic medicine for Childhood hematology and oncology: Proposal of guidance for handling the secondary findings).
3. 学会等名 第60回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栗原 将, 檜山 英三, 上田 祐華
2. 発表標題 小児固形腫瘍初診時における外科的生検についての検討 (The examination about surgical biopsy for childhood solid tumors).
3. 学会等名 第60回日本小児血液・がん学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本多 昌平, 菱木 知郎, 横井 暁子, 風間 理郎, 高間 勇一, 星野 健, 田口 智章, 檜山 英三
2. 発表標題 肝腫瘍に対するinitial surgical interventionに関する最近の話題 (Initial surgical intervention for pediatric liver tumor)
3. 学会等名 第60回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiyama E
2. 発表標題 New navigation techniques in oncologic reactions. 50th Congress of the International Society of Paediatric Oncology
3. 学会等名 SIOP (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiyama E, Ueda Y, Kurihara S, Aoki Y, Iehara T, Ida K, Kazama T, Kihira K, Takama Y, taguchi T, Hishiki T, Fujimura J, Hoshino K, Honda S, Matsumoto K, Mori M, Yano M, Yokoi A, watanabe K, Tanaka Y
2. 発表標題 Decline in serum alpha-fetoprotein level before tumor resection as a prognostic factor for Hepatoblastoma. 50th Congress of the International Society of Paediatric Oncology
3. 学会等名 SIOP (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Miyazaki O, Oguma E, Nishikawa M, Tanami Y, Kitami M, Hosokawa T, Hiyama E.
2. 発表標題 Radiological evaluation of Hepatoblastoma: Comparison of PRETEXT 2005-2017
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山岡 絵美, 深澤 賢宏, 金輪 真佐美, 久保 陽子, 木村 真吾, 平野 尚子, 檜山 英三
2. 発表標題 Transgelinの過剰発現は神経芽腫細胞株を悪性転化させる
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原田 隆範, Yasmine Abouleila, Ahmed Ali, 森原 なぎさ, 林 陽子, 木村 真吾, 二村 愛, 平野 尚子, 入砂 文子, 檜山 英三
2. 発表標題 循環腫瘍細胞に対する一細胞解析法の試み
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Honda S, Hiyama E
2. 発表標題 Molecular study in JPLT studies.
3. 学会等名 SIOPEL Meeting 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiyama E
2. 発表標題 Circulation Tumor Cells and tumor DNA in Liquid Biopsy for childhood malignancy
3. 学会等名 PAPS25 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoko Iehara
2. 発表標題 Treatment strategies for neuroblastoma patients in JCCG neuroblastoma committee (JNBSG),
3. 学会等名 Asia-Pacific Symposium of Neuroblastoma2017 Keynote Recture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Tomoko Iehara, Isao Yokota, Akihiro Yoneda, Takehiko Kamijo, Atsuko Nakazawa, Atsushi Kikuta, Tetsuya Takimoto, Satoshi Teramukai, Hajime Hosoi, Akira Nakagawara, Tatsuro Tajiri,
2 . 発表標題 Interim Results of a Clinical Trial of IDRF for Intermediate-Risk Neuroblastoma from the Japan Neuroblastoma Study Group (JNBSG)
3 . 学会等名 49th Congress of the international Society of Paediatric Oncology, (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Norio Nakagawa, Ken Kikuchi, Kayoko Nakamura, Tomoko Tanaka, Shigeki Yagyu, Tomoko Iehara, Tatsuro Tajiri, Toshiyuki Sakai, Hajime Hosoi
2 . 発表標題 Mutation of RAS pathway should be a target of precision medicine for rhabdomyosarcoma,
3 . 学会等名 49th Congress of the International Society of Paediatric Oncology, (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Daisuke Kaneda, Ken Kikuchi, Kayoko Nakamura, Chihiro Tomoyasu, Shigeki Yagyu, Tomoko Iehara, Tatsuro Tajiri, Toshiyuki Sakai, Hajime Hosoi,
2 . 発表標題 The novel histone deacetylase inhibitor OBP-801 induces apoptosis in neuroblastoma tumor cells,
3 . 学会等名 Asia-Pacific Symposium of Neuroblastoma 2017, (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Miyazaki O, Hiyama E, Watanabe K, Hishiki T, Ida K,
2 . 発表標題 National Center for Child Health and Development, Setagata, Tokyo, Japan. Lung nodules in hepatoblastoma patients: A proposal for new diagnostic criteria.
3 . 学会等名 SIOPEL SPRING MEETING 2017. (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Hishiki T, Watanabe K, Ida K, Hoshino K, Iehara T, Aoki Y, Kazama T, Kihira K, Takama Y, Taguchi T, Fujimura J, Honada S, Matsumoto K, Mori M, Yano M, Yokoi A, Tanaka Y, Fuji H, Miyazaki O, Yoshimura K, Takimoto T, Hiyama E.
2. 発表標題 Pulmonary metastasectomy in hepatoblastoma- JPLT2 experience.
3. 学会等名 SIOPEL SPRING MEETING 2017. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiyama E, Kurihara S, Ueda Y, Oue T, Kitagawa N,
2. 発表標題 JCCG Liver Tumor Committee(JPLT), Japan. NABIGATION SURGERY USING ICG FLUORESCENCE IMAGING FOR HEPATOBLASTOMA LUNG METASECTOMY.
3. 学会等名 SIOPEL SPRING MEETING 2017. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永江 玄太, 山本 尚吾, 辰野 健二, Claire Renard-Guillet, 梅田 高呂, 堤 修一, 藤田 征志, 中川 英刀, 檜山 英三, 油谷 浩幸.
2. 発表標題 肝芽腫の包括的メチル化分析で明らかになった予後不良に関するメチル化サブタイプと癌特異的エンハンサー. (Comprehensive profiling of hepatoblastoma revealed the clinically useful methylation patterns and the ectopic enhancers.)
3. 学会等名 第76回日本癌学会定期学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤好 直, 本多 晶平, 湊 雅嗣, 鈴木 拓, 檜山 英三, 武富 紹信.
2. 発表標題 胚芽腫におけるシスプラチン耐性関連遺伝子の異常高メチル化の同定 (Identification of aberrant hypermethylation of Cisplatinresistant associated genes in hepatoblastoma.)
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 檜山 英三
2. 発表標題 小児がん
3. 学会等名 第55回日本癌治療学会学術集会 教育セッション「小児がん」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirahara S, Hiyama E, Kimura S, Kurihara S, Kawashima M, Ueda Y, Onitake Y.
2. 発表標題 Pharmacogenomic analysis for treatment-related toxicities of hepatoblastoma patients in Japan
3. 学会等名 The 49th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiyama E, Hishiki T, Hoshino K, Yokoi Y, Tamata T, Kazama T, Honda S, Taguchi T, Kurihara S, Kazashima M, Ueda Y.
2. 発表標題 Surgical and Interventional Treatment for ruptured hepatic Tumors in Japanese Study Group Experience.
3. 学会等名 The 49th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiyama E, Kurihara S, Hirano S, Irisuna F, Ueda Y, Kawashima M.
2. 発表標題 Integrated Gentic and Epigenetic Analysis novel Molecular Subgroups in Hepatoblastoma.
3. 学会等名 The 49th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名	Brock P, Maibach R, Childs M, Rajput K, Fabre M, Roebuck D, Sullivan M, Laithier V, Rhonge M, Dall'Igna P, Hiyama E, Benedicte B, Skeen J, Mateos M, Rangaswami A, Brugieres L, Perliongo G, Czauderna P, Morland B, Neuwelt E.
2. 発表標題	Sodium Thiosulfate (STS) as Otoprotectant to Reduce the Incidence of Cisplatin-Induced Hearing Loss: Final Results of The SIOPEL6 Trial Sandard Risk Hepatoblastoma (SR-HB).
3. 学会等名	The 49th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP2017) (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	Hiyama E, Hishiki T, Ida K, Watanabe K, Tanaka Y, Aoki Y, Iehara T, Kazama T, Kihira K, Taguchi T, Fujimura J, Hoshina K, Honda S, Matsumoto K, Mori M, Yano M.
2. 発表標題	Survival and Lates Effects of JPLT(Japanese Study Gropu for Pediatric Liver Tumor)-2 Risk-Stratified Study for Hepatoblastoma.
3. 学会等名	The 49th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP2017). (国際学会)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	菱木 知朗, 渡邊 健一郎, 井田 孔明, 星野 健, 家原 知子, 青木 由貴, 風間 理郎, 木平 健太郎, 高間 勇一, 田口 智章, 藤村 純也, 本多 昌平, 松本 公一, 森 麻希子, 矢野 道広, 横井 暁子, 田中 祐吉, 藤 浩, 宮寄 治, 吉村 健一, 瀧本 哲也, 檜山 英三.
2. 発表標題	肝芽腫の外科治療戦略と画像支援
3. 学会等名	第59回日本小児血液・がん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	菱木知郎, 渡邊健一郎, 井田孔明, 星野健, 家原知子, 青木由貴, 風間理郎, 木平健太郎, 高間勇一, 田口智章, 藤村純也, 本多昌平, 松本公一, 森麻希子, 矢野道広, 横井暁子, 田中祐吉, 藤浩, 宮寄治, 吉村健一, 瀧本哲也, 檜山英三, 日本小児がん研究グループ(JCCG)肝腫瘍委員会.
2. 発表標題	小児がんの画像診断 肝芽腫の外科治療戦略と画像支援
3. 学会等名	第59回日本小児血液・がん学会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名 井田孔明
2. 発表標題 日本における小児肝腫瘍に対する臨床試験の現状
3. 学会等名 第59回日本小児血液・がん学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森禎三郎, 富田紘史, 阿部陽友, 清水隆弘, 高橋信博, 石濱秀雄, 山田洋平, 下島直樹, 淵本康史, 星野健, 黒田達夫
2. 発表標題 小児肝移植におけるグラフト線維化・肝硬度の経時的評価 - 3年間での検討 -
3. 学会等名 第54回日本小児外科学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 若林大雅, 篠田昌宏, 日比泰造, 尾原秀明, 北郷実, 八木洋, 阿部雄太, 松原健太郎, 山田洋平, 益田悠貴, 星野健, 黒田達夫, 北川雄光
2. 発表標題 当院における生体肝移植ドナーの選択基準
3. 学会等名 第35回日本肝移植研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 富田紘史, 清水隆弘, 星野健, 山田洋平, 淵本康史, 下島直樹, 石濱秀雄, 高橋信博, 阿部陽友, 森禎三郎, 篠田昌宏, 尾原秀明, 日比泰造, 北川雄光, 黒田達夫
2. 発表標題 小児生体部分肝移植後の抗ヒト白血球抗原ドナー特異的抗体と肝線維化の関連性
3. 学会等名 第35回日本肝移植研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 本多昌平、湊 雅嗣、宮城久之、藤好 直、檜山英三、新開真人、北河徳彦、新開真人、田中水緒、田中祐吉、武富紹信
2. 発表標題 がんにおける個別化医療を目指した分子マーカーの確立：肝芽腫エピゲノム異常解析
3. 学会等名 第117回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 本多昌平、湊 雅嗣、宮城久之、藤好 直、北河徳彦、田中祐吉、田中水緒、新開真人、武富紹信
2. 発表標題 肝芽腫の分岐進化に関わるmicroRNA発現異常
3. 学会等名 第54回日本小児外科学会定期学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Penelope Rachel Brock, Margaret Childs, Kaukab Rajput, Rudolf Maibach, Derek Roebuck, Michael James Sullivan, Veronique Laithier, Milind Ronghe, Patrizia dall'Igna, Eiso Hiyama, Brichard, Jane Skeen, Maria Elena Mateos, Monique Fabre, Giorgio Perilongo, Piotr Czauderna, Bruce Morland, Edward A
2. 発表標題 Two-year results of clinical efficacy of cisplatin in combination with sodium thiosulfate (STS) vs cisplatin alone in a randomized phase III trial for standard risk hepatoblastoma (SR-HB) : SIOPEL 6
3. 学会等名 2016 ASCO Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Brock P, Childs M, Rajput K, Maibach R, Brugieres L, Roebuck D, Sullivan M, Laithier V, Rhonghe M, dall'Igna P, Hiyama E, Brichard B, Skeen J, Mateos M. E, Capra M, Fabre M, Perilongo G, Czauderna P, Morland B, Neuwelt E
2. 発表標題 Two Year Results of a Randomised Phase III Trial for Standard Risk Hepatoblastoma (SR-HB) SIOPEL 6; Cisplatin and Sodium Thiosulfate (STS) Vs Cisplatin Alone
3. 学会等名 48th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiyama E, Hishiki T, Oue T, Hoshino K, Kurihara S, Kawashima M, Ueda Y.
2. 発表標題 Surgical Resectability and Tumour Response to Preoperative Chemotherapy in Hepatoblastoma Patients Treated by the Japanese Study Group for Paediatric Liver Tumour (JPLT)-2 Protocol
3. 学会等名 48th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fuji H, Soejima T, Nozaki M, Masaki H, Nozawa K, Miyazaki O, Kitamura M, Tajiri T, Koshinaga T, Hosoi H, Hiyama E, Takimoto T, Fukuzawa M, Kiyokawa N, Hara J
2. 発表標題 Radiotherapy Quality Management System for Conducting Nationwide Clinical Trials: An Instrument Established by the Japan Children's Cancer Group
3. 学会等名 48th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮崎 治, 小野 栄二, 西川 正則, 田波 稯, 北見 昌広, 細川 崇洋, 渡邊 健一郎, 菱木 知郎, 井田 孔明, 檜山 英三
2. 発表標題 肝芽腫の肺結節 - JCCG肝芽腫症例におけるPRETEXT肺転移診断基準の妥当性の検討
3. 学会等名 第58回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Honda S, Minato M, Miyagi H, Hiyama E, Taketomi A.
2. 発表標題 Aberrant DNA methylation related to chemoresistance in hepatoblastomas
3. 学会等名 The 24th Congress of the Asian Association of Pediatric Surgeons (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 本多昌平, 湊雅嗣, 宮城久之, 檜山英三, 武富紹信
2. 発表標題 肝芽腫の化学療法抵抗性に関わる DNA メチル化異常解析
3. 学会等名 第57回日本小児血液がん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 本多昌平, 宮城久之, 湊 雅嗣, 武富紹信.
2. 発表標題 先天性門脈体循環シャントに対する外科治療戦略
3. 学会等名 第116回日本外科学会定期学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kikuchi K, Otabe O, Tsuchiya K, Katsumi Y, Yagyu S, Miyachi M, Iehara T, Hosoi H
2. 発表標題 MET/ERK2 PATHWAY REGULATES THE MOTILITY OF HUMAN ALVEOLAR RHABDOMYOSARCOMA CELLS
3. 学会等名 48th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiyama E, Hishiki T, Ida K, Watanabe K, Oue T, Yano M, Hoshino K, Iehara T, Koh K, Tanaka Y, Kurihara S, Kawashima M, Ueda Y
2. 発表標題 GENETIC RISK FACTORS OF CHEMOTHERAPY-RELATED OTOTOXICITY AND CARDIOTOXICITY IN HEPATOBLASTOMA
3. 学会等名 48th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Watanabe K, Hishiki T, Ida K, Oue T, Yano M, Hoshino K, Iehara T, Koh K, Tanaka Y, Hiyama E
2. 発表標題 CONGENITAL ABNORMALITIES AND GENETIC BACKGROUNDS ASSOCIATED WITH PAEDIATRIC MALIGNANT LIVER TUMOUR IN THE JAPANESE STUDY GROUP FOR PAEDIATRIC LIVER TUMOUR
3. 学会等名 48th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日比 泰造, 篠田 昌宏, 板野 理, 北郷 実, 阿部 雄太, 八木 洋, 尾原 秀明, 松原 健太郎, 星野 健, 下島 直樹, 山田 洋平, 黒田 達夫, 北川 雄光
2. 発表標題 臓器横断的シンポジウム：日本の肝移植の未来のために今なすこと
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田 洋平, 星野 健, 富田 紘史, 清水 隆弘, 阿部 陽友, 森 禎三郎, 高橋 信博, 石濱 秀雄, 下島 直樹, 篠田 昌宏, 亀山 香織, 淵本 康史, 北川 雄光, 黒田 達夫
2. 発表標題 臓器横断的シンポジウム：小児生体肝移植長期生着に向けて
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田 洋平, 松原 健太郎, 日比 泰造, 阿部 雄太, 八木 洋, 下島 直樹, 篠田 昌宏, 北郷 実, 尾原 秀明, 板野 理, 伊澤 由香, 高岡 千恵, 星野 健, 北川 雄光, 黒田 達夫
2. 発表標題 臓器横断的シンポジウム：脳死下臓器提供及び移植における日米の相違について - 日本独自のシステム構築のために
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日比 泰造, 篠田昌宏, 板野 理, 北郷 実, 阿部 雄太, 八木 洋, 尾原 秀明, 松原 健太郎, 淵本康史, 下島直樹, 山田 洋平, 星野 健, 黒田達夫, 北川 雄光
2. 発表標題 生体肝移植後の新規悪性疾患：単一施設における実態と日本の一般人口との対比
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 溝田高聖, 篠田昌宏, 板野 理, 尾原 秀明, 北郷 実, 日比 泰造, 八木 洋, 阿部 雄太, 松原 健太郎, 山田 洋平, 淵本康史, 星野 健, 黒田達夫, 北川 雄光
2. 発表標題 成人血液型不適合肝移植術後の長期成績
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊吹省, 日比 泰造, 篠田昌宏, 板野 理, 尾原 秀明, 北郷 実, 八木 洋, 阿部 雄太, 松原 健太郎, 山田 洋平, 下島 直樹, 星野 健, 黒田達夫, 北川 雄光
2. 発表標題 肝グラフトの長期生着に向けて：成人生体肝移植後の急性腎障害と血流感染症がもたらす中・長期的な影響
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日比 泰造, 篠田昌宏, 板野 理, 北郷 実, 阿部 雄太, 八木 洋, 尾原 秀明, 松原 健太郎, 星野 健, 淵本康史, 下島直樹, 山田 洋平, 黒田達夫, 北川 雄光
2. 発表標題 臓器横断的シンポジウム：世界の肝移植医療で日本が果たすべき役割
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 清水 隆弘, 星野 健, 山田 洋平, 富田 紘史, 亀山 香織, 森 禎三郎, 阿部 陽友, 高橋 信博, 石濱 秀雄, 下島 直樹, 篠田 昌宏, 瀧本 康史, 北川 雄光, 黒田 達夫
2. 発表標題 小児生体部分肝移植術後遠隔期における抗ドナー抗体とグラフト線維化の検討
3. 学会等名 第52回日本移植学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田洋平, 星野健, 高橋信博, 森禎三郎, 阿部陽友, 清水隆弘, 石濱秀雄, 下島直樹, 瀧本康史, 黒田達夫
2. 発表標題 肝芽腫の腹膜播種再発及び肝内転移に対するICGナビゲーション手術の一例
3. 学会等名 第32回日本小児外科学会秋季シンポジウム (PSJM2016 第36回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高橋信博, 星野健, 山田洋平, 森禎三郎, 阿部陽友, 清水隆弘, 石濱秀雄, 下島直樹, 瀧本康史, 一色恭平, 嶋晴子, 嶋田博之, 波多野まみ, 辻川華子, 黒田達夫
2. 発表標題 肝移植後4年で移植肝に再発した肝芽腫の1例
3. 学会等名 第58回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中澤温子, 北條洋, 大喜多肇, 田中祐吉, 平戸純子, 義岡孝子, 細 創, 日本小児がん研究グループ病理診断委員会
2. 発表標題 希少がんの病理診断と診療体制 小児がんの病理診断 JCCG中央病理診断の経験から
3. 学会等名 第105回日本病理学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 湊雅嗣, 本多昌平, 宮城久之, 新開 真人, 北河徳彦, 田中水緒, 田中祐吉, 武富紹信
2. 発表標題 網羅的DNAメチル化解析を用いた肝芽腫の遠隔転移因子の検索
3. 学会等名 第53回日本小児外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 北河徳彦, 新開真人, 細川崇, 中村香織, 白井秀仁, 望月響子, 武浩志, 田中水緒, 田中祐吉, 大坪誠治, 草野満夫
2. 発表標題 肝腫瘍手術時に使用するICG蛍光法の偽陽性、偽陰性について
3. 学会等名 第53回日本小児外科学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 孝橋賢一, 田中祐吉, 岸本宏志, 山元英崇, 山田裕一, 木下伊寿美, 田口智章, 小田義直
2. 発表標題 悪性ラプドイド腫瘍の再分類 組織学的特徴に基づく3つの亜型
3. 学会等名 第75回日本癌学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 関口昌央, 関正史, 星野論子, 吉田健一, 白石友一, 吉田美沙, 宗崎良太, 田中祐吉, 田口智章, 宮野悟, 林泰秀, 小川誠司, 滝田順子
2. 発表標題 小児肝芽腫の遺伝子発現データによるクラスタリング解析
3. 学会等名 第75回日本癌学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 関口昌央, 関正史, 磯部知哉, 星野諭子, 吉田健一, 白石友一, 河合智子, 吉田美沙, 千葉健一, 田中洋子, 宗崎良太, 秦健一郎, 田中祐吉, 田口智章, 宮野悟, 林泰秀, 小川誠司, 滝田順子
2. 発表標題 肝芽腫のゲノム・エピゲノム解析
3. 学会等名 第58回日本小児血液・がん学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 後藤裕明, 中村航, 慶野大, 杉山正伸, 宮川直将, 横須賀とも子, 浜之上聡, 岩崎史記, 後藤晶子, 塩味正栄, 宮下倫江, 永井淳一, 北河徳彦, 田中祐吉
2. 発表標題 CD-DST 法を用いた小児固形がん組織における薬剤感受性の検討
3. 学会等名 第58回日本小児血液・がん学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Watanabe K, Hishiki T, Ida K, Que T, Yano M, Hoshino K, Iehara T, Koh K, Tanaka Y, Hiyama E
2. 発表標題 CONGENITAL ABNORMALITIES AND GENETIC BACKGROUNDS ASSOCIATED WITH PEDIATRIC MALIGNANT LIVER TUMOR IN THE JAPANESE STUDY GROUP FOR PEDIATRIC LIVER TUMOR
3. 学会等名 48th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Watanabe K
2. 発表標題 Liver transplantation for hepatoblastoma : a view from an oncologist
3. 学会等名 第58回日本小児血液・がん学会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 檜山 英三	4. 発行年 2016年
2. 出版社 医薬ジャーナル社	5. 総ページ数 6
3. 書名 児がん臨床研究プロトコルの実際「肝腫瘍」, よくわかる臨床研究～小児がん～	

1. 著者名 檜山 英三	4. 発行年 2016年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 7
3. 書名 肝悪性腫瘍, 標準小児外科学	

1. 著者名 家原知子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京医学社	5. 総ページ数 4
3. 書名 小児疾患診療のための病態生理 3 改訂第5版	

1. 著者名 一般社団法人 日本小児血液・がん学会	4. 発行年 2016年
2. 出版社 金原出版	5. 総ページ数 50
3. 書名 小児がん診療ガイドライン 2016年版	

1. 著者名 家原知子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 JBCT日本がん治療認定医機構	5. 総ページ数 8
3. 書名 がん治療認定医教育セミナーテキスト第10版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	菱木 知郎 (Hishiki Tomoro) (00375776)	千葉大学・大学院医学研究院・教授 (12501)	
研究分担者	家原 知子 (Iehara Tomoko) (20285266)	京都府立医科大学・医学(系)研究科(研究院)・准教授 (24303)	
研究分担者	渡邊 健一郎 (Watanabe Kenichiro) (20324634)	地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こども病院(臨床研究室)・臨床研究室・医長 (83809)	
研究分担者	栗原 将 (Kurihara Sho) (40724894)	広島大学・医系科学研究科(医)・助教 (15401)	
研究分担者	田中 祐吉 (Tanaka Yukichi) (50420691)	地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター(臨床研究所)・臨床研究所・臨床研究所長 (82729)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	井田 孔明 (Ida Kohmei) (60313128)	帝京大学・医学部・教授 (32643)	
研究分担者	上田 祐華 (Ueda Yuka) (70624641)	広島大学・病院(医)・講師 (15401)	
研究分担者	本多 昌平 (Honda Shohei) (90588089)	北海道大学・大学病院・講師 (10101)	
研究分担者	森 麻希子 (Mori Makiko) (80570960)	埼玉県立小児医療センター・血液腫瘍科・医長 (82412)	
研究分担者	吉村 健一 (Yoshimura Kenichi) (30415517)	広島大学・病院(医)・教授 (15401)	
研究分担者	星野 健 (Hoshino Ken) (70190197)	慶應義塾大学・医学部(信濃町)・特任准教授 (32612)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 国際小児がん研究会	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 国際小児肝臓癌研究会(SIOPEL meeting Hiroshima)	開催年 2018年～2018年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	Guangzhou Medical University	The University of Hong Kong	Xi'an Medical University	他3機関
シンガポール	KK Women ' s and Children ' s Hospita			
英国	University of Birmingham			
ドイツ	Ludwig-Maximilians-University Munich			
ポーランド	Gdanski Medical University			
米国	Cincinnati Children ' s Hospital	Dana-Farber Cancer Institute	University of Utah Div. Pediatr. Surg.	他11機関